募集馬番号 **5**

ルールザユニバースの21

牡 2021年3月21日生 ｜ 鹿毛 ｜ 美浦・鈴木慎太郎厩舎 ｜ 本桐牧場生産

一口価格： **17,600円** ※2023年保険料 564円　募集口数：500口【競走馬出資金総額 880万円】

POINT

父は北米血統ながら日本ダービーを3着。残念ながらその後出走する事なく競走生活を終えましたが、数少ない産駒から中央2勝馬や石川ダービー馬を輩出しているように未完の大器であった父の高い能力は産駒へと受け継がれています。血統的には中距離ダートが主戦場になりそうですが、均整の取れた馬体や素軽い動きからは芝ダートを問わない万能型の走りが期待できそうです。奥が深く成長力を秘めていそうな血統構成も本馬の魅力です。ご愛馬として長く付き合っていける1頭になるのではないでしょうか。

治郎丸敬之の馬体診断

アポロソニックの現役時代を振り返ってみると、実に不思議な競走馬であったことが分かります。ダートの1400m戦で勝ち上がり、5戦目で芝の特別レースを勝ち、続く青葉賞を2着した勢いそのままに日本ダービーに出走し、キズナの3着と好走しました（2着のエピファネイアとは1馬身1/4差ですよ、凄くないですか）。誰がどう見てもアメリカのダート血統にもかかわらず、芝に転向させた陣営は慧眼ですし、それに応えたアポロソニックの柔軟性には頭が下がります。530キロ台の筋骨隆々のパワフルな馬体を誇っていましたから、パンパンの良馬場の瞬発力勝負では分が悪かったのは当然です。それでも3着と好走したのは、アポロソニックの気性の良さや賢さが主な理由だと思います。鞍上の指示に従って、落ち着いて走ることができる、アメリカ血統にしては珍しく冷静な性格であったのではないでしょうか。ルールザユニバースの21を見て、真っ先に感じたのはアポロソニック譲りの気性の良さと賢さです。現時点では父と比べて筋肉量も筋肉のメリハリも物足りない面はありますが、そこは先々、否が応でもマッチョになってくるでしょうから心配はいりません。むしろ馬体全体のバランスの良さを評価すべきです。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。